

その束縛は愛？いいえ、DV です。

～デート DV をなくそう～



○デート DV とは

交際している親密な関係の相手への心や身体への暴力のことです。

内閣府の調査では、女性の約 5 人に1人(22.7%)が交際相手から暴力被害を受けた経験があります。また、男性が被害者のケース(20 代男性の約 8 人に 1 人:12.0%)や同性カップルの間でも起こりますが、被害者の多くは女性です。(内閣府 男女間における暴力に関する調査報告書 令和 6 年 3 月)

男女の地位や力の差、社会的な関係性などに深く関係していますが、10 代や 20 代のカップルでもデート DV は起こりえます。殴る・蹴るなどの**身体的暴力**以外にも、大声で怒鳴る・無視する・人前で馬鹿にするなどの**精神的暴力**や、性行為を強要する・避妊をしないなどの**性的暴力**などがあります。

また、加害者は常に暴力を振るうとも限りません。DV にはサイクルがあり、DV のないラブラブ期→イライラ期→DV の爆発期というサイクルを繰り返す傾向にあります。そのため、被害者はなかなか別れる決断ができず、相手の機嫌をうかがい、怒らせないように気を使いながら、交際が継続しがちです。

○これもDV?～束縛・監視～

スマートフォンの普及で、LINE や SNS での監視(即レス要求)、GPS で居場所を確認するなど、束縛・監視が容易になりました。勝手に相手のスマホをチェックして異性の友人等の連絡先を消すように命じたり、相手の裸の写真を撮ったり送らせたりして別れると写真をネットにばらまくと脅すこと(リベンジポルノ)も問題になっています。

恋人ならいつでも一心同体、相手がいつでも自分の思い通り行動するべきという思いこみから、力の強い方が弱い方を従わせるために行動を制限したり、暴言・暴力を使って言うことをきかせます。これらは「**力による一方的な支配(コントロール)**」であり「**暴力**」です。束縛は、愛情ではなく支配欲によるものです。**被害者が「辛い」「怖い」「嫌だ」と思ったらDVです。**

○若年層のデートDVの特徴～恋愛幻想、束縛は愛?～

テレビドラマやマンガなどの情報から、恋愛に幻想を抱くことがあります。束縛＝愛情だと勘違いして、束縛されたいと感じる人もいるかもしれません。「束縛されたい」の本音は「大事にされたい」「愛されたい」ではないでしょうか？

「しつこいのも、嫉妬も愛情表現」「相手に嫌われたくない」「自分さえ我慢すれば」と考え、「結婚すれば、子どもが産まれれば優しくなる(変わる)」と期待します。しかし、加害者の多くは変わらず、束縛はさらにエスカレートします。交際相手から被害を受けた人の生活上の変化について「自分に自信がなくなった」(27.0%)、「夜、眠れなくなった」(15.0%)、「心身に不調をきたした」(15.0%)等の影響が見られます。(内閣府 男女間における暴力に関する調査報告書 令和 6 年 3 月)

○性的同意 その1

カップル(夫婦)の間でも、体に触れたり、キスをしたり、性行為をするときは必ず「**性的同意**」が必要だということを知っていますか？

「本当は嫌だけど雰囲気壊したくない」「恋人だから嫌でも仕方ない」と本意でない性的行為に依じていませんか？

お酒に酔っていた等、勢いで性行為をしてしまい、妊娠しないか怯えたり、後悔したりしていませんか？

相手から「**性的同意**」を得ずに、「嫌と言っているけど YES の意味」と勝手に判断して、無理強いする人もいるかもしれません。**同意がなければ「強姦」であり「性的暴行」です**。見知らぬ他人にすれば逮捕される犯罪行為です。

お互いが自分の気持ちを押し付けるのではなく、相手を大切に思って行動すれば、暴力はなくていきます。

○性的同意 その2

本当は嫌なのに「断ると機嫌が悪くなるから断れない」「避妊をしてと言えない」というのは、対等な関係とは言えません。雰囲気に流されず、避妊や妊娠・出産について二人で話し合い、互いが納得できる必要があります。あなたの体は、他の人が勝手に触ってよいものではありません。

カップルの間では、1 回でも性行為をすると、「相手は自分のもの」と所有意識を持ち、デート DV が始まることがあります。望まない妊娠・出産による人生への影響は大きく、その後の進学・就職など、人生設計の選択肢が変わってきます。

感染症予防のためにも、避妊は必ずしましょう。「避妊をしないのは DV だからダメ」と断りましょう。

○ODVをする心理～知らず知らずのうちに身についた考え方のクセ～

「暴力をふるいたくないのに、お前のせいで仕方なくふるったんだ」「これは指導、教育だから DV ではない」、このような台詞を聞いたことはありませんか？けれど、「正しい暴力」などありません。殴られていい人はいません。

暴力をふるう原因は「暴力をふるっていい」と思っているから。「付き合っているなら、当たり前」と相手に自分の価値観や期待を押し付けて、思い通りにならないとイライラしてしまう自分勝手に自己中心的な考え方です。

互いを大切にする交際ができるよう、素直な気持ちを二人で話し合ってみましょう。

○一人で悩まず、ご相談ください

板橋区男女平等推進センター相談室(LINE でのご相談も受け付けています)

電話・面談相談：月～金曜 9時～17時(祝日・年末年始を除く)

LINE 相談：月～土曜 14時～20時(祝日・年末年始を除く)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/tetsuduki/jinken/danjo/soudan/1002349.html>



チェックしてみよう

- ☐ たたかれたり、蹴られたり、髪の毛をひっぱられたりする
- ☐ スマホを見られて、他の人とのやり取りをチェックされる
- ☐ 頻繁に連絡が来て、返信が遅れると怒られる
- ☐ 何を言うにも、恋人の顔色をうかがってしまう
- ☐ 異性の友達と仲良くしていると不機嫌な態度をとられる
- ☐ 性的行為を強要されたり、避妊に協力しない
- ☐ 恋人に暴力をふるわれることがあるが、その後、急に優しくなり、気を遣ってくれる

もし、このような経験があったら、あなたは
デートDVを受けているかもしれません。
束縛は、愛情ではなく、支配欲です。
辛い、怖い、嫌だと思ったら、一人で悩まずに、
相談してみましょう。

何かあったら、一人で悩まずご相談ください。秘密は守られます。下記
いずれの窓口も相談無料です。

いたばしI(あい)ダイヤル(DV専門相談) 03-5860-9510
月～金曜 9時～17時(祝日・年末年始を除く)

板橋区男女平等推進センター総合相談 03-3579-2188(女性)
03-3579-2992(男性)
月～金曜 9時～17時(祝日・年末年始を除く)
※LINE相談 月～土曜 14時～20時(祝日・年末年始を除く)

東京ウィメンズプラザ(女性用 DV専用) 03-5467-1721
9時～21時(年末年始を除く)
※LINE相談 14時～20時(年末年始、7月第3日曜日を除く)

東京ウィメンズプラザ(男性用) 03-3400-5313
月・水・木曜 16時～20時(祝日・年末年始を除く)
土曜 13時～17時(祝日・年末年始を除く)

東京都女性相談支援センター 03-5261-3110
月～金曜 9時～21時
土・日・祝日・年末年始 9時～17時

警視庁総合相談センター 03-3501-0110
24時間(休みの曜日、時間帯なし)
※お近くの警察署の生活安全課でも相談できます。

緊急のときは
・警察 110番